

## 小中連携 総合的な学習の時間 学習指導案

白浜町立三舞中学校  
教諭 上村 みどり

### 1. 単元名 「地域とつながる！～旧小学校の歴史を調べよう～」

#### 2. 単元の目標

- 安居小学校創立150周年記念文化祭を機に、安居小学校と統合された各小学校の歴史について理解し、地域の方に伝えることができる。 (知識・技能)
- 地域の課題を見出し、全ての人が地域とのつながりを実感でき楽しく過ごせるプランを作成し、実行する。 (思考・判断・表現)
- 地域の歴史に触れ新たな魅力を発見することで、地域に誇りを持つことができる。小学生と中学生が協力し、地域や役場の方と積極的に交流することで、社会性を身につけ、地域・人とのつながりを大切にする心を育てる。 (主体的に学習に取り組む態度)

#### 3. 単元について

##### (1) 教材観

本単元は小学校創立150周年の文化祭、テーマ「過去のキセキと私たち」に向け、小中連携して「地域の歴史」について取り組んだものである。以前の防災キャンプの時と同じように、生徒は、地域の声を聞き地域の中の自分というスタンスで学習を進めた。地域に出かけ歴史を調べ、劇「時間旅行～ウチらの地域～(安居小学校統合の歴史)」の台本を書き、昔の人になりきって地域の方の前で演技した。一步一步ではあるが、生徒が地域と協働し「自分たちにできること、しなければならないこと」について考えを深めていくプランとなっている。

##### (2) 生徒観

本校の生徒は、役場や専門機関の協力を得て地域の方々と共に学ぶ機会が多く、1年を通して地域と顔の見える関係づくりを大切にしている。小中連携の良さを生かし、小学校低学年時から鮎の放流や茶摘み、カヌー体験など地域の方との体験活動を通じて、日置川地域の「ひと・もの・こと」に触れてきた。生徒にとってあたりまえのようで見過ごしがちな新たな「発見」や、課題を解決するために多くの体験活動を実践している。

小学校から継続している防災学習では、「地域の課題に向き合おう～学習を通して学んだことを実践しよう～」をテーマにしている。地域の方々に危険箇所を尋ね、特大の危険箇所マップを作った。地域在住の水害体験者から当時の様子を直接聞くことができた。防災キャンプの準備・実施は、保護者・地域の人々との疑似避難所運営、炊き出し体験など

貴重な経験となった。地域の課題を焦点化し解決策を練り合う地域座談会に中学生も一緒に参加し、話し合っで発見した課題や人々の思いや願いをまとめた。

これまで、SDGsをテーマに多くの体験活動を通じて、美しい日置川を未来に残すために自分たちにできることを考えたり、学校から地域の人々に呼び掛けたりしてきた。日置川をこれからも「大切にしよう」「守っていこう」という意識が芽生えつつある。

劇中「昔の人と今の自分らって全然違う気がしてたけど、自分らのしてる事とあんま変わらんねんなって思って、親近感わいたわ。」というセリフがあった。昔の人との相違点ではなく、自分や今の時代との共通点を挙げたこと、「昔と今がつながっていたからこそ地域を大切にしていかなければならない。」と感じたのではないだろうか。ここがまず初めの一步。生徒が将来どこに居住しても「地域の一員」として、ふるさとの様々な課題を「自分事」として解決策を考えアクションできる大人になってもらいたい。

### (3) ESD との関連

#### ・ 本学習で働かせる ESD の視点

- ・ 有限性：地域の人々の思い・願いを知る。地域で受け継いできた伝統や古いものがなくならないよう自分たちが努力して守っていかなければならない。
- ・ 連携性・責任性：小・中で学年は違っても同じ仲間である。協力し様々な意見を出し合い励まし合うことで、みんなで喜びを共有する。

#### ・ 本学習で育てたい資質・能力

- ・ コミュニケーション力  
卒業した方や地域の方は今どのような思いや願いをもっているか、意見交流を通して自分の考えを構築し発信する力
- ・ 協働的問題解決力  
地域の課題を自分事として捉え、仲間と共に自分にできることはないかと積極的に関わろうとしている。

#### ・ 本学習で変容を促す ESD の価値観

- ・ 世代間の公正  
旧小学校調べを通じて、様々な人に出会いつながりをもつことができたこと、新たな課題を見出すことで自分たちが地域の未来を作っていくことに気づく。

#### ・ 達成が期待される SDGs

- 3 すべての人に健康・福祉を
- 11 住み続けられるまちづくりを



#### 4. 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考・判断・表現	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 地域で受け継いできた伝統や古いものの情報・知識について理解している。</p> <p>② 調べたことをもとに縦割り班のメンバーにも分かりやすく資料を作っている。</p>	<p>① 過去のキセキと私たちがテーマに伝達方法を考え表現している。</p> <p>② 地域の方の願いや聞き取りから課題を見出し、地域とつながりを大切にした方策を考えている。</p>	<p>① 地域の人々の思い・願いを知り、受け継いできた伝統や古いものを尊重している。</p> <p>② 今後も地域とつながり続けるために、自分にはできないことはないかと積極的に関わろうとしている。</p>

#### 5. 単元の指導計画（全 25 時間）

学習活動	学習への支援	評価
<p>○今後の活動の見通しを持つ。</p> <p>○旧小学校の基本情報把握</p> <p>1. 高学年と中学生で旧小学校の位置や歴史について大まかに調べる。（小・中縦割り班）</p> <p>2. 低・中学年向けプレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>3. 低・中学年の児童に基本情報を伝達する。</p>	<p>○安居小学校創立150周年にあたって、地域の人々の思い・願い・期待に応えられるよう取り組むこと、地域の方々が受け継いできた伝統や古いものを大切にする、今後も地域とつながり続けるための活動であることを考えさせる。</p> <p>○低学年にも理解できるように、プレゼンテーション資料は言葉や内容、伝達方法を工夫するよう支援する。グループ全体で今後の活動の見通しを持たせる。</p>	<p>(ア) ①② 知識・技能</p> <p>(イ) ① 思判表</p>
<p>○旧小学校見学会…校外学習（小中学生全員）</p> <p>5. 質問内容を考える（事前学習）</p> <p>6. 旧校舎見学先でインタビュー活動を行い資料・情報を集める。</p> <p>7. 活動の振り返り</p>	<p>○基本情報だけでなく、地域の人々の思いや願いも聞くことができるような質問を考えさせる。</p> <p>○実際、現場で特に見ておきたいことを考えておく。</p>	<p>(ウ) ① 主体的</p> <p>(ア) ① 知識・技能</p>

<p>○情報整理 8 グループング, テーマ設定</p> <p>9, 10 知りたいことを明確にし、 深めたいテーマ選定を行う。</p> <p>11 2度目のインタビュー実施</p> <p>12 発表方法のアイデアを決定 内容の大枠をまとめる。</p>	<p>○模造紙に付せんを貼り、インタビューで得た情報を項目ごとにグループングしてまとめさせる。全体共有を経て自分たちの疑問や感じたこと、もっと知りたいことを話し合わせる。</p> <p>○さらに情報が必要なグループは2度目のインタビューに出かけてもよいことを伝える。</p>	<p>(イ) ② 思判表</p>
<p>○文化祭で地域に向けて発表成果を劇で発表する。小中全員参加 タイトル「時間旅行～ウチらの地域～」(安居小学校統合の歴史)を披露することに決定。</p> <p>13 劇の台本、原案決め</p> <p>14 台本、役割を小学校高学年と中学生で確認、修正</p> <p>15 台本確定 低・中学年に伝える。 全体で読み合わせをする。</p> <p>16-22 劇の練習</p> <p>23-25 文化祭当日 劇、太鼓パフォーマンスの披露、お茶や花苗の販売など地域の方との交流イベントを実施する。</p> <p>25 ふり返り 地域発信 自分たちが地域のためにできること、今後の活動に生かせることはないか考える。</p>	<p>○グループごとに劇の練習をし、必要な演技、動きのアイデアを出し合う。舞台セット・準備物なども考案し自分たちで製作する。</p> <p>○文化祭テーマ決定 「時間旅行～過去のキセキと未来の私たち～」</p> <p>○小学校高学年と中学生が中心になって企画運営を行う。</p> <p>○総合的な学習の時間は、小学校と時間割を合わせ、小中合同総合の時間とする。</p> <p>○地域とつながるための活動を中学生が作っていこう。実践につなげよう。</p> <p>○花苗(生徒が栽培)、川添茶の販売(生徒がお茶摘み、茶煎り、パック詰めをした商品)でお客様にどのような対応をしたら喜ばれるだろうか。楽しい看板とお店作りにチャレンジしよう。</p> <p>○人とのつながりが、自分たちの学びや未来につながっていることを伝える。</p>	<p>(ウ) ① 主体的</p> <p>(イ) ② 思判表</p> <p>(ウ) ② 主体的</p>